

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>ポーラ五反田ビル</b> <b>クリスタルロビーレトロフィット</b>		
<b>建築用途</b>	大分類 事務所	小分類 オフィス	
<b>改修設計者</b>	日建設計	<a href="#">URL</a>	
<b>所在地</b>	東京都品川区西五反田2-2-3	<a href="#">Google Map</a>	
<b>改修年</b>	2015年		
<b>建築規模</b>	延床面積:11,720.00 m <sup>2</sup> / 構造:鉄骨鉄筋コンクリート造 / 階数:地下2階,地上10階、塔屋3階		<b>After</b> クリスタルロビー:天井材はガラスから鏡面アルミに変わったが、透明感ある空間は継承されている。
<b>掲載書誌</b>	新建築2023年3月号		<b>概要 after</b> 耐震性と安全性の向上のため、在来とは異なる素材・工法を採用し、竣工時の空間の良さを継承したリノベーション
<b>賞・選定</b>	グッドデザイン賞(2018年)、JIA25年建築選		
<b>資料・その他</b>	<a href="#">URL</a>		
<b>■Before</b>			
<b>建築名称</b>	<b>ポーラ五反田ビル</b>		<b>概要 before</b> 日本で初めての本格的ダブルコアの本社ビル。コアを繋ぐ大梁により無柱のロビー空間を生み出している
<b>建築用途</b>	大分類 事務所	小分類 オフィス	
<b>■写真</b> 竣工時のクリスタルロビー Before	After クリスタルロビーの外観:ロビーの先に斜め庭の植込みが見える		After 竣工時とほとんど変わらないビル外観
			
<b>撮影者 提供者</b>	撮影: 門馬金昭写真事務所 提供: 日建設計	<b>撮影者 提供者</b> 撮影: 桐原武志 2023年	<b>撮影者 提供者</b> 撮影: 桐原武志 2023年
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 補強、内観保存	<b>内容</b> ポーラ五反田ビルは、日本で初めての本格的ダブルコアの本社ビルで、コアをつなぐ大梁により、エントランスロビー(クリスタルロビー)は柱がなく、グレーペンの合わせガラス天井に斜め庭のサツキが写り込み、支持フレームにそっと置かれた5mを超えるガラスにより、透明感がある空間が生まれ、モダニズム建築を代表される建築としてDOCOMOMOにも指定されている。しかし、3.11東日本大震災を契機に耐震性と安全性の調査をおこなったところ、安全性の担保の観点から、対応を求められ、現代の素材・技術をもって、美しい空間を継承する工夫が求められた。その一つが天井の軽量化で、合わせガラスを、軽量のアルミ建材に変更し、表面を手作業でガラスに負けない平坦面の鏡面塗装となっている。当初の空間の良さを同じ材料により継承するのではなく、時代のニーズを取り入れ、あたらな素材と技術で継承したリノベーションの実践例となっている。	
<b>■備考</b>			関連資料画像
<b>■作成者 氏名/所属</b>	桐原武志/Free JIA再生部会		<b>作成協力</b> 株式会社 ポーラ